

第 89 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ :樹林と水辺環境の順応的管理—

9月の研修では、皆伐更新した樹林と湿生生態園での水辺環境の順応的管理を行いました。



8月と違って変わって朝から晴天に恵まれました。公園内の田んぼは黄金色に変わり、秋を感じる風景です。



本日の作業の説明です。

今回は皆伐更新地区での萌芽株の整理・調査及び実生木の調査と、湿生生態園での水辺環境の管理作業を行います。



まずは皆伐更新地区から。
萌芽株と実生木の調査方法を講師から教わります。



周りの植生が大きく成長し、目印をつけた萌芽株を見つけるのも一苦労です。
萌芽株を見つけたら、株立ちの整理と萌芽枝の高さ・幅、根元の直径を測り記録していきます。



測定することで、樹種や場所により成長速度も異なってくるのが分かります。



実生木の調査も萌芽株同様に行います。

調べ終わった実生木には印をつけて、調査漏れがないようにしていきます。

萌芽株や実生木を調査することにより、皆伐更新地区の状況を把握することができ、

さらに公園全体の樹林管理にも活かしていくことができます。



食事中的ジョロウグモを発見しました。



サネカズラ



キツリフネ

谷戸山公園の植物たち。

サネカズラは別名「美男葛」ともいいます。

昔はツルから粘液をとって整髪料に使っていたためこの名前がついたそうです。

キツリフネは種が熟すと勢いよくはじけます。キツリフネの学名“*Impatiens noli-tangere*”

の *noli-tangere* は訳すと「私にさわらないで」という意味です。

そんな名前がついていると、つい種にさわりたくなりますよね。



お昼休憩の後は、11月25日に開催される谷戸山まつりの催し物についての話し合いをおこないました。

日頃の活動紹介と共に、参加者の皆さんに楽しんでもらえるプログラムを提案していきます。



午後は湿生生態園での研修です。

久しぶりの湿生生態園は一面ヨシに覆われてしまっていました。
今まで作業できなかった分を取り戻すためにも、気合いを入れて作業開始です。



繁殖力が強く一面を覆ってしまっているヨシやセイタカアワダチソウを除去し、
多様な水生植生を目指します。



作業中



作業後

ヨシが覆われていた場所から、水が浅く溜まった水面が見えてくるようになりました。

明るく水面が開けた場所は、これから秋にかけて多く見られる
アキアカネたちにとっても貴重な産卵場所になります。



これで本日の研修は終了です。

来月は、11月の谷戸山まつりの催し物についての詳しい打合せも行います。
谷戸山公園での活動や人と生きものとの繋がりなど、“人に伝える”ことにより
そこから新たに学ぶこともたくさんあります。
ご自身の日頃の活動や勉強の成果を活かす場としても活用してみてもはいかがでしょうか。

皆様のご参加お待ちしております！